

# 令和8年度 八潮市立保健センター事業計画

資料2

## 1 健康づくり推進事業

### (1) 健康づくり懇話会

地域ぐるみによる健康づくり事業を推進するため、町会と協働で健康づくり懇話会を開催する。

実施町会	実施月
2か所予定	通年

### (2) 健康まつり

保健・医療・福祉の連携と啓発を図り、健康づくりを市民とともに考える場として、健康まつりを開催する。

事業名	実施予定日
第24回八潮市健康まつり	11月8日(日)

### (3) ウォーキング講習会

市民の健康づくりのため、身近にできる運動であるウォーキングの講習会を実施する。

事業名	回数(予定)
ウォーキング講習会	3回

### (4) ラジオ体操講習会

気軽に楽しめる生涯スポーツの一環として、正しいラジオ体操を身に付け、健康の維持増進を図るために講習会を実施する。

事業名	回数(予定)
ラジオ体操講習会	1回

### (5) みんなで健康マイスター養成講習会

埼玉県が進める「健康長寿埼玉プロジェクト」の一環として、みんなで健康マイスター事業実施要領に基づき、「みんなで健康マイスター」を養成する。

事業名	回数(予定)
みんなで健康マイスター養成講習会	3回

### (6) コバトンALK00(あるこう)マイレージ

誰でも使いやすく、楽しく歩ける機能が充実した歩数管理アプリを活用する「コバトンALK00マイレージ」を実施する。併せてコバトンALK00マイレージを活用した市の独自ポイント事業として「ハッピーこまちゃん健康ポイント」を実施する。

事業名	実施月	計画人数
コバトンALK00マイレージ	通年	1,500人

### (7) 体力づくり講座

筋トレ講座、ウォーキング講座、栄養講座を実施し、健康づくりに取り組む市民を支援する。

事業名	回数(予定)	実施月
体力づくり講座	3回	10月

**(8) 骨髄移植ドナー助成金の交付**

公益財団法人「日本骨髄バンク」が実施する骨髄バンク事業において、ドナー登録者の中で骨髄等を提供した場合に助成金を交付する。

**(9) 自殺対策事業**

八潮市いのち支える自殺対策計画に基づき、事業を実施する。

**①ゲートキーパー養成講座**

こころの健康について理解し、悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞き、必要な支援につなげるゲートキーパー養成講座を市民及び職員向けに実施する。

事業名	対象	実施月・回数
ゲートキーパー養成講座	市民	11月頃に各1回 開催
	職員	

**②自殺対策推進会議**

自殺対策について、関係機関・団体と連携し、自殺対策の推進を図ることを目的に実施する。

**(10) 健康管理システムの維持管理**

健康管理システムの標準化対応及び定期接種（高齢者肺炎球菌、带状疱疹）、歯周疾患検診の副本登録対応を行う。

**(11) 食育推進事業**

おやこ料理教室、おとなのための食育セミナー、栄養講座、栄養相談、食に関する情報提供等を行い、食育の推進を図る。

**(12) 熱中症対策**

夏季外出時に暑さをしのぎ涼むことができる一時的な休息所として、市が指定する「ひんやりオアシスやしお」と「クーリングシェルター」の一体的な運用を実施する。

## 2 健康増進事業

市民の健康の保持増進を図るため、壮年期からの健康づくり事業を総合的に実施する。

### (1) 健康手帳

事業名	交付総数	年齢別内訳	
		40～74歳	75歳以上
健康手帳の交付	1,500人	900人	600人

### (2) 健康教育

区分	事業名	実施回数	延参加者数
病態別健康教育	地区依頼等	10回	100人
	健康づくりの料理教室	12回	180人
一般健康教育	地区依頼等	60回	720人
	がん検診県民サポーター養成	5回	100人
	生活習慣病予防講座	1回	60人
	がん集団検診	13回	2,000人
	健康づくり懇話会※	5回	100人
	みんなで健康マイスター養成※	5回	100人
	体力づくり講座※	3回	90人
骨粗しょう症健康教育	地区依頼等	10回	100人
歯周疾患健康教育	地区依頼等	16回	100人
合 計		140回	3,650人

注:病態別は、肥満、高血圧、脂質異常等について健康教育を実施したものを計上。

※の事業は、1 健康づくり推進事業の再掲。

### (3) 健康相談

重点健康相談		総合健康相談	
回数	相談者数	回数	相談者数
24回	240人	1回	10人

注:重点健康相談は、歯周疾患、骨粗しょう症、病態別の健康相談等を計上。

### (4) 健康診査等

事業名	区分	対象者	受診者数
健康診査	個別	40歳以上の生活保護受給者	30人
骨粗しょう症検診	集団	20歳以上の市民(女性のみ)	1,200人
歯周疾患検診	個別	20・30・40・45・50・55・60・65・70歳の市民	450人
肝炎ウイルス検診	個別	40歳以上の市民で肝炎ウイルス検査未受診者	400人
ヘルシーチェック(注)	集団	20歳から39歳までの市民	350人

注:ヘルシーチェックは、生活習慣病予防を目的に血圧測定、尿検査、血液検査、骨粗しょう症検診(女性のみ)を実施する。

## (5) がん検診

受診率向上対策として、市が実施する検診について40歳には封書で、41歳から70歳には圧着はがきで受診勧奨通知及び受診券を送付する。また、女性のがん検診として子宮頸がん検診は20歳、乳がん検診は40歳で無料クーポン券及びがん検診手帳を送付する。さらに子宮頸がん検診では、罹患率の高い22歳から39歳の女性に対して個別通知を発送する。

なお、国のがん検診指針を踏まえ、子宮頸がん検診、乳がん検診、胃がん検診内視鏡検査検診内視鏡検査は、2年に1回の受診としており、令和8年度からは、肺がん検診における喀痰検査を検診項目から除外する。

事業名		対象者数 (注1)	受診者数(注2)	
			本年度	前年度実績
胃がん検診	(集団) バリウム	55,000人	1,000人	748人
	(個別) 内視鏡	41,000人	500人	488人
肺がん検診	(集団)	55,000人	1,000人	1,347人
	(個別) <b>【新規】</b>		1,000人	0人
大腸がん検診	(個別)	55,000人	6,000人	5,740人
子宮頸がん検診	(個別)	38,000人	2,210人	2,137人
乳がん検診	(集団)	27,000人	980人	617人
	(個別)		640人	653人
前立腺がん検診	(個別)	3,600人	230人	249人

注1:対象者数は、検診対象年齢の全数(胃(バリウム)、肺、大腸がんは40歳以上、胃(内視鏡)は50歳以上、子宮頸がんは20歳以上の女性、乳がん検診は40歳以上の女性、前立腺がんは50~75歳の5歳節目年齢の男性)

注2:子宮頸がん検診受診者数には20歳以上の妊婦健康診査受診者(700人)を含む。

## (6) 結核検診

結核のまん延を防ぐため、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づき、65歳以上の者を対象に胸部X線検査を実施する。

なお、結核検診は肺がん検診で撮影したフィルムを使用し判定している。

事業名		回数(予定)	受診者数(注)
結核検診	(集団)	13回	600人
	(個別)	—	600人

注:肺がん検診で撮影したフィルムを使用し判定するため、65歳以上の肺がん検診受診者数を再掲する。

## (7) こころの健康相談

精神科医による健康相談を実施する。

事業名	回数(予定)	相談者数
こころの健康相談	12回	24人

## (8) こころの健康講座

こころの健康づくりを啓発するため、こころの健康講座として講演会を開催する。

事業名	回数(予定)	参加者数
こころの健康講座	2回	100人

(9) 精神保健訪問指導

精神保健指導が必要と認められる者及びその家族等に対して保健師が訪問し、必要な助言等を行う。

事業名	実人数	延人数
精神保健訪問指導	12人	20人

(10) がん患者ウェルビーイング支援事業

① A Y A (アヤ) 世代在宅療養支援事業

18歳から40歳未満の末期がん患者が利用した、在宅サービスの費用を一部助成する。

事業名	助成人数	助成対象		助成額
A Y A 世代在宅療養支援事業	2人	①訪問介護等	6件	月額上限72,000円
		②福祉用具	2件	上限90,000円(1回限り)
		③意見書作成	2件	上限 5,000円(1回限り)
		④ケアマネジメント	6件	月額上限15,000円

②アピアランスケア用品購入費助成

がん治療に伴う外見の変化を補うため、購入したアピアランスケア用品の購入費用の一部として、上限20,000円(1人1回限り)を助成する。

事業名	助成人数	助成用具	
		ウィッグ等	その他補整具
アピアランスケア用品購入費助成	40人	35件	15件

(11) 高齢者保健介護予防一体化事業

高齢者が住み慣れた地域で自立した生活ができる期間を延伸し、QOLの維持向上を図るため、高齢者の特性を踏まえ、関係課と連携を図り一体的に事業を実施する。

①ハイリスクアプローチ

健診の結果、身体的虚弱の状態にある者や糖尿病治療中断者、健診や医療機関の受診履歴のない者について、家庭訪問や電話等により状態を把握し、必要な支援を実施する。

取組区分	対象者数
口腔フレイル	20人
身体的フレイル	120人
重症化予防(糖尿病性腎症)	40人
健康状態不明者対策	120人

②ポピュレーションアプローチ

高齢者の通いの場等での相談ができる場づくりや積極的な関与として健康教育を実施する。

「気軽に相談できる環境づくり」とは、地区担当保健師が通いの場において、地域の実情に応じ、高齢者の健康に関する相談や不安等について気軽に相談できる環境を整え、より多くの高齢者の健康づくりに寄与する取組である。

取組区分	実施会場	実施回数	参加者数
健康教育・健康相談	35会場	70回	1,400人
フレイル状態の把握	30会場	30回	600人
気軽に相談できる環境づくり※	30会場	30回	600人

### 3 予防接種事業

感染症のまん延を防ぐため、予防接種法に基づく対象疾病に対する定期の予防接種を、次のとおり実施する。

#### (1) 定期接種（A類疾病）

接種ワクチン		対象年齢	計画人数
ロタワクチン	1 価	生後6週～生後24週未満	(延)1,120人
	5 価	生後6週～生後32週未満	(延)720人
小児用肺炎球菌 (開始時期により1回～4回)		2か月～5歳未満	(延)3,200人
B型肝炎（3回）		2か月～1歳未満	(延)2,400人
B C G		1歳未満	800人
5種混合	1 期初回（3回）	2か月～7歳6か月未満	(延)3,200人
	1 期追加	1 期初回3回接種後、6か月以上	
麻しん風しん 混合（注1）	1 期	1歳～2歳未満	800人
	2 期	小学校就学前の1年間	750人
	5 期特例	S37.4.2～S54.4.1生まれで、令和6年度末までの風しん抗体検査が陰性の男性	80人
水痘（2回）		1歳～3歳未満	(延)1,600人
日本脳炎 （注2）	1 期初回（2回）	6か月～7歳6か月未満	(延)2,650人
	1 期追加	1 期接種後、概ね1年以上	
	2 期	9歳～13歳未満	1,000人
HPV（子宮頸がん予防） ワクチン（2回～3回）【変更】		小学6年生～高校1年生相当の女子（注3）	400人
二種混合	2 期	11歳～13歳未満	780人
RSウイルス【新規】		妊娠28週0日から36週6日までの妊婦	710人

注1：令和6年度の第1期及び第2期の対象者と、第5期の対象者で令和6年度末までに抗体検査を実施し抗体価が不十分であった者のうち、MRワクチンの偏在等が生じたことによりワクチン接種できなかった者は令和8年度まで接種期間が延長された。

（令和9年3月31日までの経過措置）

注2：日本脳炎予防接種については、平成17年度から平成21年度にかけて接種の積極的勧奨の差し控えにより接種を受ける機会を逸した方について、平成23年5月20日から「特例対象者」として、20歳未満までの間に定期予防接種として接種可能となっている。

注3：令和7年度でキャッチアップ接種は終了。令和8年度からワクチンが9価のみとなる。

(2) 定期接種（B類疾病）

接種ワクチン	対象年齢	計画人数
高齢者向けインフルエンザ （注1・2） <b>【変更】</b>	65歳以上（予防接種法で定める60歳～65歳未満の者を含む）	13,200人
新型コロナウイルス感染症 （注1）	65歳以上（予防接種法で定める60歳～65歳未満の者を含む）	4,550人
高齢者肺炎球菌 <b>【変更】</b>	満65歳（予防接種法で定める60歳～65歳未満の者を含む） ※令和8年度からワクチンの種類が23価から20価に変更	425人
帯状疱疹（注3）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・65歳の者（予防接種法で定める60～65歳未満の者を含む）</li> <li>・経過措置対象者</li> </ul>	(延)2,020人

注1：高齢者向けインフルエンザと新型コロナウイルスの接種期間は毎年10月1日から翌年1月31日まで。

注2：令和8年度より、75歳以上の者は標準量か高用量のインフルエンザワクチンいずれかを選択することができる。

注3：帯状疱疹は65歳の者を対象に定期接種が開始され、5年間の経過措置として70・75・80・85・90・95・100歳の者が対象である。

帯状疱疹ワクチンは、組換えワクチン（2回接種）と生ワクチン（1回接種）の2種類。

(3) 任意接種

①大人の風しん予防接種費用の助成 **【拡充】**

地域での風しんの流行を防ぎ、妊婦と生まれてくる赤ちゃんの健康を守るため、大人の風しん予防接種助成事業を実施し、風しんの予防接種費用の一部として上限3,000円（1人1回限り）を助成する。

令和8年度から助成対象者を、「妊婦の配偶者又は同居者」から、「1及び妊婦の配偶者又は同居者」へ拡大する。

助成対象者	助成人数
1. 妊娠を予定又は希望している女性（18歳以上50歳未満）	48人
2. 1及び妊婦の配偶者又は同居者	8人
合計	56人

②八潮市造血細胞移植後定期予防接種費用助成事業

造血細胞移植により、既に予防接種によって得ていた免疫を消失したと医師に判断され、任意で再度予防接種を受けた者に費用を助成する。

#### 4 感染症予防事業

##### (1) 感染症予防に向けた備蓄並びに普及啓発

- ①新感染症の流行に備え、消毒液、防護服セット等の計画的な備蓄を行う。
- ②感染症の流行状況に応じ、市ホームページ等で周知する。
- ③イベント等の周知機会を捉え、感染症予防の普及啓発を行う。

##### (2) 新型インフルエンザ等行動計画ガイドラインの策定

令和7年度に策定した、八潮市新型インフルエンザ等対策行動計画が示す対策について、実際の現場で必要となる具体的な内容や実施方法、関係者の役割分担等を示したガイドラインを策定する。

## 5 休日診療所運営事業

休日における急病患者の診療を確保するため、初期救急医療として実施する。

診療日：日曜日、祝日、振替休日、年末年始(12月31日から1月3日)

診療科目：内科、小児科

事業名	実施日数
休日診療所運営事業	71日

## 6 母子保健事業

母子保健法に基づく、母子健康手帳の交付や健康教育、健康相談、健康診査等を実施する。

また、「こども家庭センター」として、全ての妊産婦、子育て世帯、こどもに対し、母子保健・児童福祉が一体となり切れ目ない相談支援を実施する。

事業名	実施日数	実施月	区分	計画人数	備考
早期不妊検査費・不妊検査費助成	随時	通年	個別	85組	男女1組につき1回限り上限2万円 (女性年齢35歳未満に限り3万円)
低所得の妊婦に対する初回産科等受診料助成	随時	通年	個別	10人	低所得の妊婦に対し、妊娠判定のための受診料を助成
妊娠届出/母子健康手帳交付	随時	通年	個別	830人	
妊婦のための支援給付	随時	通年	個別	1,690人	妊娠届出後及びこどもの数届出後の2回給付
妊婦健康診査	随時	通年	個別	800人	妊婦一般健康診査(14回)、子宮頸がん検診、各感染症検査
パパ・ママ学級	13日	通年	集団	500人	日曜日に開催
プレママサロン	9日	通年	集団	(延)120人	助産師等による講話、妊婦同士の交流会
妊娠8か月時アンケート	随時	通年	個別	800人	アンケート結果等により相談を実施
新生児聴覚スクリーニング検査	随時	通年	個別	800人	
産婦健康診査	随時	通年	個別	800人	R4年度1人につき1回助成開始、R6年度2回に増加
産後ケア事業	随時	通年	個別・集団	(延)840人	助産師等による育児指導・相談等の支援 短期入所型、居宅訪問型、通所型(集団型)、通所型(個別型)
未熟児養育医療の給付	随時	通年	個別	30人	
未熟児訪問指導	随時	通年	個別	30人	保健師及び委託助産師による訪問指導
新生児訪問指導	随時	通年	個別	440人	委託助産師による訪問指導
妊産婦訪問指導	随時	通年	個別	440人	委託助産師による訪問指導
こんにちは赤ちゃん訪問	随時	通年	個別	300人	こんにちは赤ちゃん訪問員による訪問(妊婦さん訪問を含む)
母子保健訪問指導	随時	通年	個別	(延)500人	保健師による訪問指導
離乳食教室(初期)	12日	通年	集団	200人	栄養士による離乳食指導、5~6か月児対象
離乳食教室(後期)	12日	通年	集団	150人	栄養士による離乳食指導、9~11か月児対象
1か月児健康診査	随時	通年	個別	800人	
4か月児健康診査	随時	通年	個別	800人	
10か月児健康診査	随時	通年	個別	800人	
1歳6か月児健康診査	14日	通年	集団	670人	はみがき教室併設
3歳児健康診査	14日	通年	集団	660人	はみがき教室併設
すこやか相談	30日	通年	集団	(延)210人	医師相談14回、心理相談30回、言語相談12回
ママのこころの相談	12日	通年	個別	24人	臨床心理士による相談・助言等
子育てメンタルサロン	12日	通年	集団	(実)10人	育児不安の軽減を目的としたグループ活動
0歳児ファーストブック事業	12日	通年	集団	100人	図書館職員による本の読み聞かせ 離乳食教室(初期)に併設
子育て応援サイト・アプリ	随時	通年			子育て支援情報、母子保健、予防接種情報をモバイルにて提供
にじいろ子育て相談室	随時	通年	個別	(延)2,200人	専任の保健師・助産師が妊娠期から子育て期までの様々な相談に応じ、切れ目ない支援を実施
5歳児健康診査【新規】	13日	通年	集団	680人	R3.4.2生まれ以降の幼児対象 はみがき教室併設
はみがき教室【拡充】	41日	通年	集団	2,000組	1歳6か月児・3歳児・5歳児健診に併設。 対象者を希望者から健診受診者全員へ変更